

●三位一体後第十日

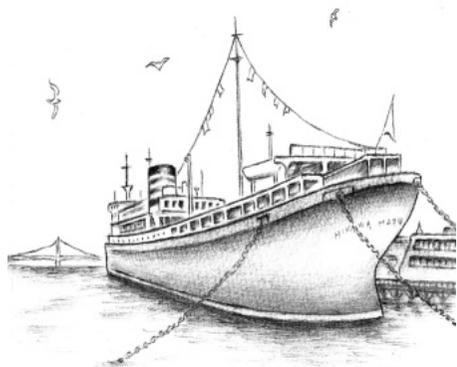
# 泉のほとり

今月の詩編「第百二十六編」

主よ、わたしたちのために

大きな業を成し遂げてください。

わたしたちは喜び祝うでしょう。



## 主イエスの他に救いはない

江戸時代から明治の初めにかけて、厳しい迫害に耐えて信仰を守った隠れキリシタンと呼ばれる人たちがいます。トルコでも地下にトンネルを掘り、そこに隠れて生活しながら信仰を守った人たちがいます。いったい何が、これほどまでの苦勞をしながら信仰を守り通させたのでしょうか。

神殿の門のそばで物乞いをしていた足の悪い男の人を癒したペトロとヨハネが神殿に入ると、人々が集まって来たので、ペトロは彼らに対して、悔い改めて主イエスを信じるように説教をし、五千人が主イエスを信じました。しかしこの騒動を聞きつけた指導者たちによって捕らえられ、大祭司の庭で尋問を受けます。

そこで問われたことは、何の権威によってそのようなことをしたのか、です。権威とは人を服従させる力です。それを誰から受けたのかというのです。ペトロは答えて言います。癒されたその人を立たせたのは、あなたがたが十字架につけて殺し、神が死者の中から復活させられたイエス・キリストの名であると。さらに彼は一歩踏み込んで「他の誰によっても救いは得られません。わたしたちが救われるべき名は、天下にこの名のほか、人間には与えられていないのです」と断言したのでした。

いったいこのように語る力は、どこから来たのでしょうか。ガリラヤ湖の漁師で、聖書の知識もなく、人を説得する弁舌も持たないペトロが、最初に説教をしたのは聖霊が降られた後です。聖霊のお働きによって、それまで聞いてきた聖書の話と主イエスの死と復活が結びつい

て、一貫した神の救いの業として悟られたのでしょう。だからユダヤ人の指導者たちに対しても、確信をもって堂々と語ることができたのです。

もう一つ、ペトロの確信を支える出来事があります。大祭司の庭で、かくて彼は三度主イエスとの関係を否定して、朝を告げる鶏の声を聞いて激しく泣いた経験があります。彼にとっては痛恨の極みのような出来事です。しかしその彼に対して主は前もって、彼の信仰が無くならないように祈ったと言い、立ち直つたら兄弟たちを力づけてやりなさい、と告げたのです。

だからペトロは人々に対して「あなたがたが十字架につけて殺したイエス」と言いながら、自分も同罪であることを知っていたのです。だからこそその言葉が、一方的に人々を責め立てる言葉では鳴く、彼らを悔い改めに導く言葉になったのです。そしてそういう自分の弱さを知りながら弟子としてくださり、信仰が無くならないように祈つてくださり、立ち直ることを信じてくださった主イエスの愛に対する確信が、彼の力となったのです。

「主イエスの他に救いはない」とは主イエスに対する愛と信頼を表明する言葉であり、そういうものとしてのみ言いうる言葉です。そしてこの言葉はわたしたち教会の旗印です。この言葉が迫害の時代を耐えさせる力であり、二千年に渡る教会の伝道の歴史を支える力なのです。

---

2025年度

教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

わたしたちのヴィジョン

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

---

《今日のお知らせ》

○今日の報告は特にありません。

○今週も高い気温の日々が続くとの予報です。

皆さま、お身体にお気をつけてお過ごしください。

---

《ぶどうの会より》

礼拝後、第二・三シオンルームでぶどうの会を行います。

《祈りの会より》

本日祈りの会を行いますので、どうぞご参加ください。一二時一五分より。会場はカナン・ルームです。

---

《交 読 詩 篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

〔司・会〕の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇百二十六篇】 都に上る歌。

主がシオンの捕われ人を連れ帰られると聞いて  
わたしたちは夢を見ている人ようになった。

そのときには、わたしたちの口に笑いが

舌に喜びの歌が満ちるであろう。

そのときには、国々も言うであろう

「主はこの人々に、

大きな業を成し遂げられた」と。

主よ、わたしたちのために

大きな業を成し遂げてください。

わたしたちは喜び祝うでしょう。

主よ、ネゲブに川の流れを導くかのように

わたしたちの捕われ人を

連れ帰ってください。

涙と共に種を蒔く人は

喜びの歌と共に刈り入れる。

種の袋を背負い、泣きながら出て行った人は

（司・会）

束ねた穂を背負い

喜びの歌をうたいながら帰ってくる。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「本当に幸せな民は」

聖書 列王記上10章1〜9節

説教者 吉村和雄名誉牧師

《次週の礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「主こそが神である」

聖書 列王記上18章30〜40節

説教者 吉村和雄名誉牧師

●主日礼拝（午前10時30分・礼拝堂）

讃美歌 85番 191番

説教 「キリストの信仰を持ちなさい」

聖書 ヤコブ2章1〜7節

説教者 黄允湜牧師





## 主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 73番 234A  
説教 「福音を告げ知らせながら」  
聖書 使徒8章1～8節(新約 P.227)  
司式 石川 一兄  
聖餐司式 黄 允湜 牧師  
説教者 宮間 彰広 兄

前奏曲「キリスト、全ての世のなぐさめ」 J.S.バッハ

### ○讃美歌73番

- くすしきかみ たえなる主よ かいなきわれにも  
くだしたまえ 主のみたまを あふるるばかりに  
あたえたまえ 主をたたうる うたごころを
- あおき空よ つくりぬしの みいつをあらわせ  
かがやく日よ 主なるかみの みさかえ示せや  
つきよ ほしよ こえをあわせ み名をほめよ
- かみを知れる ひとの子らよ すくいをたたえよ  
主をあいする あまつたみよ み代をばことほげ  
とわにいます 主なるかみに みさかえあえ

アーメン

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。

### ○讃美歌234A

- 昔主イエスの 播きたまいし  
いちも小さき 生命のたね  
芽生え育ちて 地のはてまで  
その枝を張る 樹とはなりぬ
- 歴史のながれ 旧きものを  
返らぬ過去へ 押しやる間に  
主イエスの建てし 愛の国は  
民よりたみへ ひろがりゆく
- 時代の風は 吹きたけりて  
思想の波は あいうてども  
すべての物を超えてすすむ  
主イエスの国は 永久に栄えん
- 父なる神よ み名によりて  
世界の民を ひとつとなし  
地をばあまねく み国とする  
みちかいをとく はたしたまえ

アーメン

聖餐曲「プレリュード」 Z.ゴッーイ

後奏曲「我が救い主は生きておられる、栄光、ハレルヤ！」

D.ウット